

矯正サービスNSWでの 現場実習

フィリパ・エバンス博士 (Dr Phillipa Evans) : 学生参加・仕事重視学習担当
ディレクター

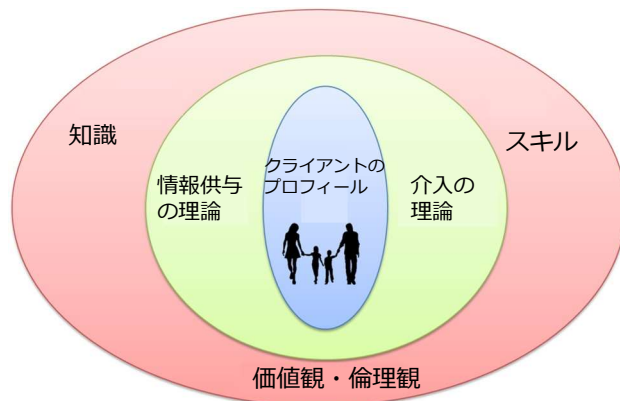
ドミニク・ファン・ジェステル (Dominic van Gestel) : 現場実習担当マネ
ジャー (矯正サービスニューサウスウェールズ)

ニーブ・マケイ (Neave Mackey) : ソーシャルワーク4年生

組織の概要： 矯正サービスニューサウスウェールズ (NSW)

- 政府出資組織。他の例としては、Child Protection Services (児童保護)、Youth Justice (若者に正義を)、Housing & Disability (住宅・障害)、Justice Services (Courts and Tribunals) (司法(裁判))、Law Reform Commission & Legal Services (Legal Aid and Court Support services) (法律改革委員会・司法サービス(法律相談・裁判支援))など。
- 年間予算は22億ドル、州内各地に1万1500人を超えるスタッフを擁し、36の刑務所(3か所の民間運営を含む)と57のコミュニティー矯正オフィスで構成(DCJ 2022)。
- 当機関は、コミュニティーでの再犯削減という難度の高い使命を担うにあたり、サービス、信頼、説明責任、一貫性、敬意という基本的価値観を促進している(DCJ 2023)。
- 人権尊重、社会正義、専門家としての誠実さといったAASWの基本的価値観に広く合致する組織(AASW倫理規定2020)。

3段階の理論枠組み (Collingwood 2005)



3

対象とする人々の概略

- コミュニティーベースの指示による日々の管理対象者は平均3万4788人。82%が男性、18%が女性と推定される。
- 現在拘留されているのは合計1万3126人で、男性が93.4%、女性が6.6%。
- 被拘留者、管理対象者の双方について、先住民の割合が高い。
- 再拘留される人が多い。

(DCJ 2023)

4

クライアントのプロフィール： 対象はどんな人々か？

メンタルヘルス

- ト라우マとメンタルヘルスの交差点

アルコール・薬物使用

不利な状況

- サービス制度による全般的な待遇と裏切り

逆向の・予測できない人々

障害

- 認識障害と身体障害
- 移動に問題を抱え、歩行器・車いすを利用する高齢者の増加
- 精神障害者を対象とする「特別」部門

5

理論

情報提供の理論

- システム理論
- 社会的学習理論
- 愛着理論

介入の理論

- 危機介入
- 弁証法的行動理論
- 認識行動理論
- 職務中心の実習

6

スキル

- 境界設定
- アドボカシー
- 文化的能力
- 協力
- 感情的知性
- 問題解決
- 危機介入
- 時間管理

知識

- 政策
- 立法
- 倫理基準
- 手続き・手順
- 情報技術

価値観・倫理観

- 正直さと透明性
- 能力
- 人間の尊厳・価値

7

学習を固める



監督者による支援



セルフアドボカシー



コーチングとメンタリング：監督者・仲間



安心して、勇敢に学習を進めているか

8

矯正サービスの現場実習を振り返る

- 矯正サービス「現場実習の指針」
- 思慮深い実習の原則
- 積極的でないクライアントを相手にする倫理的緊張

